



ほ な み

# 穂 立

第 11 号

令和 3 年 12 月 7 日 発行

<http://toyoura.shibata.ed.jp>

## 子どもたちを成長させる「見えない指」を～仏様の指～

校長 伊藤 真哉

今年も残りわずかとなりました。地域や人々の様子もすっかり冬の装いになりました。

11月26日の「オープンスクール」と「いじめ見逃しゼロスクール集会」では、保護者、地域の皆様から大勢足を運んでいただき、終日子供たちの様子を見ていただきました。また、11月26日で終了しましたが、保護者の皆様からはPTA挨拶運動にご協力いただきました。民生委員・児童委員の皆様からは、年間を通してご協力をいただいております。皆様から日々、子どもたちを温かく見守っていただいておりますことに、あらためて心より感謝申し上げます。

さて、12月13日(月)～16日(木)の4日間、三者面談を行います。お子様の成長を支えるための貴重な情報交換の場とさせて頂きたいと思っております。私は、子どもたちの成長のためには「やればできる」という自信を身に付けさせることが大切だと考えています。そのヒントとなるこんな話がありますのでご紹介いたします。有名な話なので、ご存じの方もいらっしゃるかもしれません。

「仏様がある時、道ばたに立っていらっしやると、一人の男が荷物をいっぱい積んだ車を引いて通りかかった。しかし、そこは大変なぬかるみで、車はそのぬかるみにはまってしまって、男は懸命に引くけれども、車は動かない。汗びっしょりになって、男は苦しんでいた。その様子をしばらく見ていらっしやった仏様は、ちょっと指でその車にお触れになった。その瞬間、車はすっとぬかるみから抜けて、からからと男は引いていった。」(大村はま 著『教えるということ』共文社 より)

男は仏様の指の力にあずかったことを知らず、自分の努力で車を引き上げたと思い、自信と喜びで車を引いていったことでしょう。

この男のように、子どもたちがつまづいた時、気付かれないようにそっと支援をする。そのことが、「自分でできたんだ」という達成感をもたせ、次に進む意欲を育むと考えます。ご家庭でも、お子さんへの関わり方としてこの話を参考に見てみてください。



我々教職員一同は、子どもたちに「できた」「やり遂げた」という自信を養っていくことができるよう、これからも全力で取り組んでいきたいと思っております。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 命の授業講演会(11月11日木曜日)

全校生徒を対象に、「命の授業講演会」を行いました。講師として、共立観光取締役六日町支店長、一般社団法人「愛・南魚沼みらい塾」の理事、東日本大震災の復興活動「越後愛届け隊」の隊長など、いくつもの肩書きをお持ちの倉田智浩様をお迎えしました。今回は、「越後愛届け隊」の隊長の立場から、震災ボランティア10年間の軌跡や当時の震災の様子を写真や映像を交えながら話をしてくださいました。津波で家族を失った少女の話や見つからない娘を探し続ける母の話などを聞いて、涙を流す生徒もいました。あらためて、かけがえない命の尊さ、家族の大切さについて考える貴重な時間になりました。



## 美術部 新発田駅階段アート(11月27日土曜日)

美術部の生徒が、新発田駅構内の階段に「新発田城」を描いた階段アート作品を一枚一枚丁寧に貼り付ける展示作業を行いました。合唱コンクール後から一生懸命製作してきた作品です。立体的に見える素晴らしい出来映えになりました。新発田駅に降りた人の心を和ませてくださいと思います。作品は、およそ1年間展示される予定です。新発田駅を利用する際には、どこにあるか探してみてください。



## いじめ見逃しゼロスクール集会(11月26日金曜日)

いじめ見逃しゼロスクール集会を行いました。今年度は、「コロナいじめ」を主題として、生徒会役員が中心となって演じる「いじめ劇」、全学年の縦割り班での話し合い、ネット会議を通じた小学生との意見交換などを行いました。活動を通して、子どもたちはあらためて「いじめをしない、見逃さない」という意識を高めてくれたことと思います。集会には、保護者、民生委員、児童委員の皆様からもご参加いただきました。御礼を申し上げます。



### 生徒の振り返りアンケートから一部を紹介します

改めて、差別やいじめは絶対にしてはいけないと思いました。周りに感染している人がいたら、不安かもしれないけれど、言葉や行動に出さず、いつもどおり接するということを学びました。

コロナウイルスに感染した人への差別について理解をすることができました。また、周りの人がコロナウイルスに感染してしまったら、自分はどう接することができるかを考えることができてよかったです。

もし、私がコロナウイルスに感染してしまったら、励ましの言葉を掛けてもらいたいと思いました。相手を思うなら、まずその人の気持ちになって考えてみるといいことが分かりました。

万全の対策をとっていても感染してしまうほどの感染力をもったコロナウイルスに、かかってしまった人は、かかりたくてなったわけではないので、周りにいたら安心させるような言葉を掛けようと思いました。

自分が感じたこと以外にも、他の人の意見を聞いて自分の考えを深められたのでよかったです。感染した相手の人の気持ちをしっかりと分かってあげることが大切だと分かりました。

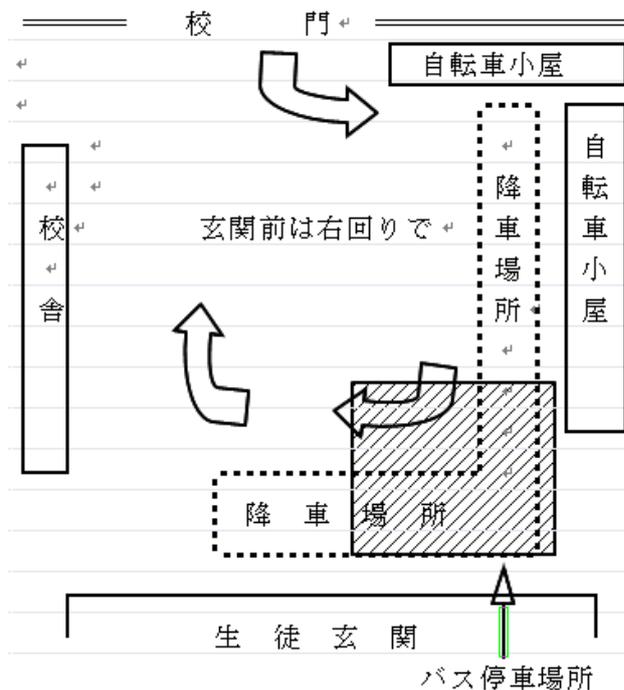
それぞれ、感染してしまった人に掛ける言葉は違っても、その人を助きたい気持ちは一緒だと分かりました。いじめは絶対にしてはいけないとあらためて思いました。



## 登校時の送迎に関するお願い

降雪が予想される時期になりました。例年積雪が増えると、玄関前の駐車場が狭くなり、登下校する生徒が車のすぐ横を通る姿を見かけます。これまで駐車場内の事故は起こっていませんが危険が予想されます。

つきましては、例年通り、登下校時の送迎は原則として右図のようにお願いします。特に、登校時、後続車がある場合は、できるだけ生徒玄関に近い場所で降車を行うようにしてください。また、図の斜線の区画はバスの停車場所となりますので、下校時間帯の駐車は避けてください。安全確保のため、ご協力をお願いします。



## 各種大会、コンクールの成果を紹介します

### ○新発田市民総合陸上大会

中学2・3年男子 100m	2位	石井 杏路
中学共通男子 400m	1位	小林 譲
中学共通男子 800m	3位	渡邊 朝日
中学2・3年男子 1500m	1位	山岸 朝柊 (大会新)
中学共通男子 3000m	1位	山岸 朝柊
中学共通男子 4×100mR	1位	貝瀬 伊藤 石井 松田 (大会新)
中学1年男子 1500m	3位	石井 杜和



### ○菖蒲城カップ野球大会 優勝

### ○中学生の税についての作文

新発田市租税教育推進協議会会長賞 伊藤 嶺

### ○全国中学生人権作文コンテスト新発田地区大会

優秀賞 勝山 優姫

優良賞 齋藤 陽菜多

### ○信越受信環境クリーン図案コンクール

奨励賞 出村 あいり

佳作 渡辺 朱音

